

落ちた鳥も羽根があればまた飛べる

自分は公立受験に落ちたから大谷高校に来たと入学した時は思っていた。落ちた者を落ちなかつた者が笑うのだろうと思っていた。実際のところ、そんなことは一切なく、先生や友人と一緒に頑張ろうと声をかけてくれた。自分はこの時に、落ちた鳥も羽根があればまた飛べることを学んだ。

この学校での三年間を経て思うのは、公立高校に落ちたのは事実だが、落ちることで公立では学べなかつたことや、得られなかつた友人や資格があるのも事実であるということ。そして何より、自分が目指したいことや成し遂げたいものを見つけて、それに向かおうと頑張っている時には、落ちたことに悩む自分はいないということだった。だからこそ自分のような人がいるなら、この学校でしか学べないことを学んでほしい。自分の経験を次に伝えようと思えるのも、この学校でたくさん失敗や成功から学んだからだと思う。

(三年 男子)

大谷高校だからこそ学べたこと

私は大谷高校に入学出来てよかつたと思います。入学当初は、絶対にそう思えなく、また思いたくもありませんでした。それが、高校生活を送っていく中で、本当に大切な友達に出会えたことで変わっていったのだと私は思っています。この高校だからこそ学べた宗教もそうです。授業では、様々なビデオを見て、私とは違った価値観を持った人たちがいることを改めて知り、そういう考え方もあるんだと見つめ直すことで精神的にも成長することができました。もし、高校受験で失敗して自分を追い込んでいるという人がいるのなら、次に生かすべきだと思えます。高校生活は短いですが、中学以上に楽しいです。それを楽しまないで後悔していたらもつたいたないので、「自分は高校受験で成功した人にはわからない辛さを一回経験しているんだ」とバネにして、大学受験や就職活動に生かし、残りの高校生活を大切にしてほしいです。

(三年 女子)